

菅平アゲイン
5月10日

リゾート気分で大会運営

木村佳司

いい天気・いい地図・いいトレイン・いいアクセス。4拍子揃った春の菅平高原でのイベントはリゾート気分のお気楽運営。

超・お気楽運営

イベント前日に現地を見てからのコース設定。受付はすべて当日のみ。スタートまでのストリーマ誘導ナシ。スタートではセルフスタート・・・運営人数は僅かに3名。これほどに準備の少ないイベントは少ないだろう。

それでいて、地図は最高、トレインも最高、計時とラップ解析は即日提供。参加者の満足度は決して低くはない。

翌日菅平高原で行われるロゲイン大会の参加者を中心に約90名の参加者が晴天の菅平高原を走った。

このままじゃ終われない

2002年の春から秋にかけて、全日本リレー大会とインカレショート大会用に菅平牧場の地図をリメイクした。GPSを投入し、調査者も入魂の地図作成だった。しかしながら大会本番の天気は無情だった。インカレショート大会が行われた11月4日は、この季節にしては珍しく雪が降り、トレインは標高1600mの冬山へと変貌してしまった。大会では安全を考慮して、大会規模を縮小し、併設クラスを中止した。入魂の地図は選手権クラスだけが使用した。

「このままじゃ終われない。」私たち主管者は多くのランナーが走ることを夢見て地図を作成してきた。「菅平高原の地図とトレインをより多くの人に楽しんでいただきたい。」この想いだけで企画したのが今回のイベント「菅平アゲイン」大会なのだ。

コラボレーション企画

インカレショートから半年過ぎた2003年春。菅平高原ではチーム白樺による「ジャパンロゲインチャレンジ2003」が開催された。この前日にコバンザメのように今回のイベントを企画した。

今回はインカレショート2002併設大会中止のおわびイベント。インカレショート大会でトレインを走ることができなかった人は参加費無料。参加者として無念だった2002年インカレショート

併設大会のうっぶんを晴らしてもらいたい。

この大会の主旨はそれだけではない。翌日のロゲイン大会に参加するのはオリエンタリングのベテラン競技者だけではない。山岳系のトレイルランナーも多く参加する予定だ。こうしたナビゲーション初心者に対する体験の場を提供し、その楽しさを実感してもらおうというものである。

いやいや、企画はそれだけではない。日本最高品質の地図とトレインは、このイベントと同時にナショナルチームのトレーニングにも利用されたのである。

運営者もタイムアタック

参加者がパラパラとやってきては次々とタイムアタックやレクチャーを行って宿へと戻って行く。そんな中、直線距離5500mのコースで32分台というタイムを松澤俊行が叩き出し、運営者一同を驚愕させる。うーん、凄すぎるぞ。根子岳の神が降臨したのか？

運営が一段落したところに運営の木村もタイムアタックをかけてみる。コントロール設置の時もさることながら、全速力でタイムアタックする時ほど、正確な地図はありがたい。長距離の直進がずれない。コンパスを100%信じて真っ直ぐに突っ込むことができる。もちろん周辺情報だって正確な情報があるから自分に自信さえあれば迷うことはない。

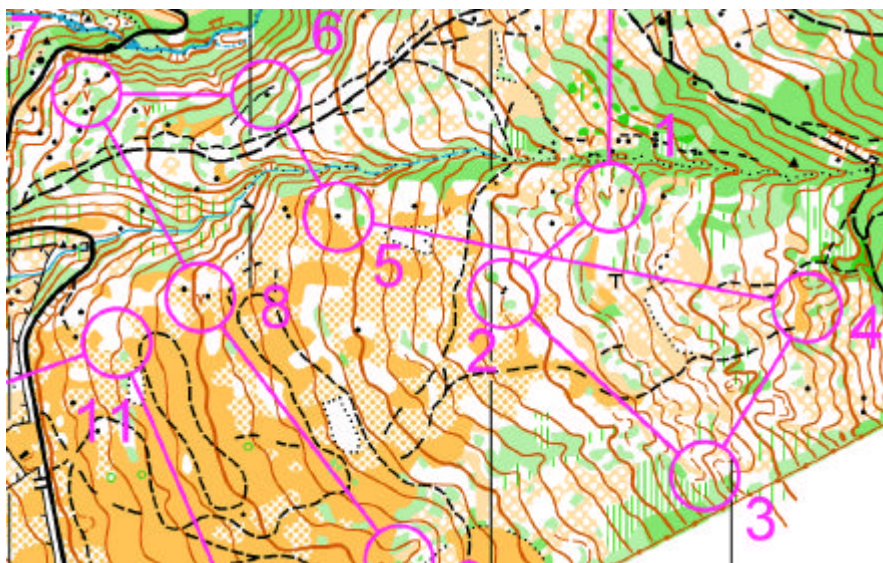
しかしコース中盤を走っている時にすでに32分が経過。トップ選手はやっぱり速いよなあ。フィジカルな速さもさる事ながら、ナビゲーションの速さが良く付いていくよと感心してしまう。

コース序盤で、田中正人率いるアドベンチャーレーサー軍団に出会う。オリエンタリングのレクチャーを行っている。地図、トレイン、天気ともに申し分ないこんな環境での初めてのナビゲーション。楽しいと感じてくれたらうか？

実際の運営者がお気楽に運営できるのも、地元菅平高原での渉外活動やバックアップの賜物。来年もロゲイン大会があるなら何かコラボ企画を考えたい。
(木村佳司)

E-コース上位成績

1 松澤俊行	0:32:41	愛知教育大
2 鹿島田浩二	0:35:25	渋谷
3 許田重治	0:36:32	Team 白樺
4 武政泰輔	0:41:29	つくば cocco
5 柿並義宏	0:41:33	Team 白樺
6 柳下 大	0:42:16	Forester



菅平アゲイン大会 E コース

牧場の都合により狭い範囲をコントロールピッキングのように使用している。